

## 授業科目カリキュラム表

課程：応用課程

1/1

科 名	建築施工システム技術科	教科の区分	応用
教科の科目	施工・施工管理総合実習（開発課題実習）		
授業科目	総合施工・施工管理課題実習	単 位	26
授業科目の目標	各課題実習や企業実習において得られた知識・技術・技能を活かして、建築生産及び建築施工における課題に対して、総合的な判断のもとに創造的かつ実践的解決案が提案でき実施できる能力を習得する。		
授業科目の細目	授 業 科 目 の 内 容	時 間	
1. 概要、企画、課題設定	(1) グループで行う総合施工・施工管理課題実習の目的 (2) 課題テーマの討議と決定 課題テーマの範囲 ① 建築生産現場における在来工法の改善案提案と検証 例：省力化・合理化・工期短縮・コストダウン等 ② 建築生産現場における新工法や品質管理方法（検査・実験法を含む）の提案と検証 例：耐震工法や金具の開発、受入れ検査方法の開発等 ③ 建築生産システムにおける新システムや改善提案と検証 例：多能工、建築施工管理体制等 ④ その他建築生産に関する問題などの改善提案と検証 (3) 課題テーマの発表	44 H	
2. 課題に対する開発・施工・施工管理	(1) 各テーマごとの施工計画・施工図書の作成及び実験計画 (2) 各テーマごとの開発・施工・施工管理・実験 (3) 中間発表 (4) 問題点の精査及びその解決策の検討	352 H	
3. 施工管理報告・発表	(1) 開発・施工・施工管理に係る論文・報告書の作成 (2) 発表用資料作成 (3) 発表会の実施 (4) 作業報告書の提出（日報または週報）	72 H	
		合計 468 H	
使用する機械器具等	パソコン、建築情報処理システム、カメラ、視聴覚機器、各種実験機器、各種施工工具		

## 授業科目カリキュラム表

課程：応用課程

1/1

科 名	建築施工システム技術科	教科の区分	応用
教科の科目	施工・施工管理総合実習（開発課題実習）		
授業科目	企業実習	単 位	4
授業科目の目標	これまでに習得した施工管理の技能・技術を実際の現場で適応し、実践能力の整理・統合を行うとともに、施工管理を実践するための課題の抽出方法を習得する。		
授業科目の細目	授 業 科 目 の 内 容	時 間	
1. 概論	(1) 企業実習の目的と意義 (2) 実習現場、実習内容等の説明、安全衛生教育等	2 H	
2. 企業実習	(1) 企業実習（①～③から選択） ① 建築生産現場 ② 建築製品工場 ③ 生産設計等の設計事務所	66 H	
3. まとめ	(1) 実習報告書の作成等	4 H	
		合計 72 H	
使用する 機械器具等	パソコン、建築情報処理システム、視聴覚機器		

## 授業科目カリキュラム表

課程：応用課程

1/1

科 名	建築施工システム技術科	教科の区分	応用
教科の科目	施工・施工管理総合実習（開発課題実習）		
授業科目	応用課題実習	単 位	10
授業科目の目標	各課題実習や企業実習において得られた知識・技術・技能を活かして、建築生産及び建築施工における課題に対して、総合的な判断のもとに創造的かつ実践的な提案と実施ができるとともに、さらに応用し実践できる能力を習得する。		
授業科目の細目	授 業 科 目 の 内 容	時 間	
1. 概要と課題設定	(1) 応用課題実習の目的 (2) 課題テーマの討議と決定 課題テーマの範囲 ① 各課題実習の成果に継続する分野 ② 各課題実習の成果のある部分をより深める分野 ③ 各課題実習で実施していない新たな分野	8 H	
2. 課題に対する開発・施工・施工管理	(1) 各テーマごとの施工計画・施工図書の作成及び実験計画 (2) 各テーマごとの開発・施工・施工管理・実験 (3) 中間発表 (4) 問題点の精査及びその解決策の検討	156 H	
3. 施工管理報告・発表	(1) 開発・施工・施工管理に係る論文・報告書の作成 (2) 発表用資料作成 (3) 発表会の実施 (4) 作業報告書の提出（日報または週報）	16 H	
		合計 180 H	
使用する機械器具等	パソコン、建築情報処理システム、カメラ、視聴覚機器、各種実験機器、各種施工工具		